

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本ユニシス株式会社

コード番号 8056 URL <http://www.unisys.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 舛井 勝人

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長

(氏名) 大友 勝博

TEL 03-5546-4111

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	180,888	△15.1	△3,168	—	△3,331	—	△3,307	—
21年3月期第3四半期	212,946	—	4,205	—	3,729	—	1,085	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△34.48	—
21年3月期第3四半期	11.31	11.29

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	204,058	69,931	33.7	716.48
21年3月期	233,546	75,464	31.7	771.94

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 68,719百万円 21年3月期 74,038百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
22年3月期	—	7.50	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	2.50	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	△12.9	7,000	△55.9	6,200	△59.0	2,100	—	21.89

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	109,663,524株	21年3月期	109,663,524株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	13,751,202株	21年3月期	13,750,874株
-----------	-------------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	95,912,459株	21年3月期第3四半期	95,894,583株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。なお、上記の業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の4ページをご参照下さい。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、一部で持ち直しの動きがみられるものの、世界的な金融危機の影響や、世界景気の下振れ懸念などのリスク要因を抱え、先行きは依然として厳しい状況が続いております。

情報サービス市場においても、企業の情報システムへの投資意欲は改善しておらず、「先送り」、「予算削減」、および「投資対効果（ROI）効率の高い内容への限定」など、慎重な姿勢が続いていることから、経営環境の厳しさは継続しております。

このような環境において、日本ユニシスグループは、お客さまと価値を共有するという経営コンセプト（U&U®：Users&Unisys）のもと、「高成長企業集団への脱皮」という将来ビジョンを掲げ、この実現に向け、基盤事業である「システムインテグレーション事業の強化」とともに、「ICT（Information and Communication Technology）市場での事業領域の拡大」と「企業体質の強化」を重点施策とし取り組んでおります。

まず、事業拡大面においては、新設した各事業部門の企画部を中心に、より付加価値の高い新しいビジネスの創出を積極的に行い、多数の引き合いをいただいております。具体的には、利用者認証機能等を備えた充電スタンドの管理と充電スタンドの位置情報・空き情報の提供という二つの基本機能を有する『smart oasis®（スマートオアシス）』を、電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド車（PHV）の充電インフラシステムサービスとして展開するとともに、異業種との連携も開始し、様々な実証実験を進めております。

また、基盤事業のシステムインテグレーション事業に加え、ICTサービス部門と各事業部門が連携し、アウトソーシングやSaaS（Software as a Service）など、サービス利用型事業の拡大にも引き続き注力してまいりました。

これらの取り組みの一環として、クラウド型iDC（internet Data Center）基盤の強化およびサービスの拡充、外国為替証拠金取引（くりっく365）向けの取引システムをSaaS化した『TRADEBASE™（トレードベース）for FX』の提供、自治体における文書管理業務の効率化を実現する『UniCity®（ユニシティ）総合文書管理システム SaaS Edition』や、災害発生時の初動期に自治体と企業の復旧活動を効果的に実現できるSaaS型危機管理情報共有システム『SAVEaid™（セーブエイド）』の提供等を開始しました。加えて、インターネットに接続できるパソコンに、専用のUSB型認証キーを挿すだけで、どこからでも企業内Webサービスに安全にアクセスできる『SASTIK®（サスティック）サービス』に、ファイル・ダウンロード機能やクライアントPCの検疫機能を新たに搭載した『SASTIKサービス Type-B』の提供も開始しております。なお、次世代オープン勘定系システム『BankVision®』につきましては、前期に特別損失を計上する要因となりましたが、その後、関係各行のご協力を得て現在は順調に展開しており、今後の販売拡大を目指しています。

一方、企業体質の強化面においては、スタッフ業務の効率化を図り、スタッフから営業へ人材をシフトすることで、営業力の増強を図っております。また、事業活動全体を見直し、社員一人一人の生産性の向上を図っております。

当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、システムサービス、ネットワークインテグレーションおよびハードウェアにて売上が減少したこと等により、売上高合計で1,808億88百万円（前年同期比15.1%減少）となりました。

利益面につきましては、アウトソーシングにおいて利益率が改善し、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、売上減少にともなう売上総利益減少の影響が大きく、営業損益は31億68百万円の損失（前年同四半期は42億5000百万円の利益）、経常損益は33億31百万円の損失（前年同四半期は37億29百万円の利益）、四半期純損益につきましては、33億7百万円の損失（前年同四半期は10億85百万円の利益）となりました。

- (注) 1. くりっく365 とは、(株)東京金融取引所の登録商標であり、同取引所に上場している取引所為替証拠金取引（FX）の愛称として使用するものです。
2. SASTIKは、(株)サスライの登録商標です。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、商品及び製品、仕掛品が増加したものの、売掛金ならびに現金及び預金が減少したことから、前連結会計年度末比294億87百万円減少の2,040億58百万円となりました。

負債につきましては、買掛金の減少、借入金の返済等により前連結会計年度末比239億54百万円減少の1,341億26百万円となりました。

純資産につきましては、699億31百万円となり、自己資本比率は33.7%と、当四半期累計期間において2.0ポイント改善いたしました。

### (キャッシュ・フローの状況)

現金及び現金同等物(以下、「資金」という)につきましては、営業活動により得られた資金を中心として、アウトソーシング用ソフトウェア開発に対する投資および借入金の返済を実施いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物残高は前連結会計年度末比123億72百万円減少の236億73百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、71億79百万円(前年同四半期比207億2百万円収入減)となりました。これは主に、売上債権の減少による収入193億1百万円(前年同四半期比182億51百万円収入減)があったものの、売上が大幅に減少したこと等により税金等調整前四半期純損益が41億80百万円の損失(前年同四半期は33億96百万円の利益)となったこと、仕入債務の減少による支出80億40百万円(前年同四半期比54億70百万円支出減)があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、108億33百万円(前年同四半期比16億9百万円支出減)となりました。これは主に、営業用コンピュータ等の有形固定資産の取得による支出30億64百万円(前年同四半期比20億35百万円支出減)、および、アウトソーシング用ソフトウェア開発投資を中心とした無形固定資産の取得による支出74億26百万円等(前年同四半期比2億15百万円支出増)によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、87億82百万円(前年同四半期比40億62百万円支出増)となりました。これは主に、短期借入金の返済70億75百万円(前年同四半期は97億78百万円の収入)および長期借入金の返済65億87百万円(前年同四半期比87百万円支出減)等による支出があった一方、長期借入れによる収入45億円(前年同四半期比45億円収入増)およびコマーシャル・ペーパーの発行残高が20億円増加(前年同四半期は65億円の減少)したことによるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成21年11月2日に公表いたしました平成22年3月期通期業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日別途開示いたしました「業績予想・配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

また、平成22年3月期の期末配当金につきましては、当期業績を勘案し、遺憾ながら従来予想の1株当たり7円50銭より5円減配し、2円50銭とさせていただきます。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結累計期間に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(追加情報)

・進行基準の適用範囲の変更

従来、当社のソフトウェアの請負開発契約のうち、連結会計年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる原価規模100百万円以上の契約については進行基準を、その他の契約については検収基準を適用しておりました。しかし、当社及び一部の連結子会社のプロジェクト管理体制の見直しを行い、当第1四半期連結会計期間に着手したソフトウェアの請負開発契約または工事契約から、より規模の小さな案件についても精度の高い進捗管理が可能となっております。したがって、当第3四半期連結累計期間における進捗部分について成果の確実性が認められる当社および一部の連結子会社の原価規模50百万円以上の契約について進行基準を適用しております。

なお、これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は826百万円増加、営業損失、経常損失および税金等調整前四半期純損失は、それぞれ290百万円減少しております。

・減損会計における資産グルーピング方法の変更

従来、当社グループは、事業用固定資産の減損の兆候把握、減損損失の認識及び測定に関する資産のグルーピングについて、原則として契約形態別の売上区分に基づいて行っていました。

しかしながら、アウトソーシング事業についての今後の事業展開を考慮し、当第2四半期連結会計期間より当社の保有固定資産に関する採算管理の単位を見直した結果、サービスの提供を目的として保有する固定資産については、資産のグルーピング方法を従来の「契約形態別の売上区分」単位から「同一の固定資産を利用する契約群」単位へと変更することにいたしました。また、これと同時に、賃貸機器事業で使用する固定資産についても従来の「契約形態別の売上区分」単位から「顧客別」にグルーピングを行うことに変更いたしました。

なお、今回のグルーピング方法の変更による財務諸表への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,673	36,146
受取手形及び売掛金	46,980	66,285
商品及び製品	9,214	6,797
仕掛品	6,613	4,709
原材料及び貯蔵品	269	227
繰延税金資産	11,868	10,389
その他	10,179	9,614
貸倒引当金	△271	△481
流動資産合計	108,526	133,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,407	4,565
機械装置及び運搬具(純額)	8,923	10,354
その他(純額)	4,862	4,932
有形固定資産合計	18,193	19,852
無形固定資産		
のれん	3,571	3,733
ソフトウェア	23,546	21,472
その他	66	69
無形固定資産合計	27,185	25,275
投資その他の資産		
投資有価証券	13,963	15,505
繰延税金資産	15,888	16,307
前払年金費用	8,629	12,089
その他	12,252	11,463
貸倒引当金	△580	△636
投資その他の資産合計	50,153	54,729
固定資産合計	95,532	99,858
資産合計	204,058	233,546

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,885	24,927
短期借入金	5,703	12,779
1年内返済予定の長期借入金	16,530	15,033
コマーシャル・ペーパー	13,000	11,000
未払法人税等	68	2,350
事業構造改革損失引当金	3,262	6,161
その他の引当金	506	776
その他	26,875	30,247
流動負債合計	82,831	103,275
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	37,035	40,620
繰延税金負債	745	1,035
退職給付引当金	1,325	1,308
その他の引当金	241	225
負ののれん	42	54
その他	1,903	1,561
固定負債合計	51,295	54,805
負債合計	134,126	158,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,483	5,483
資本剰余金	15,475	15,475
利益剰余金	68,186	72,932
自己株式	△19,260	△19,260
株主資本合計	69,884	74,631
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,243	△626
繰延ヘッジ損益	0	20
為替換算調整勘定	77	13
評価・換算差額等合計	△1,165	△592
新株予約権	738	600
少数株主持分	473	825
純資産合計	69,931	75,464
負債純資産合計	204,058	233,546

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	212,946	180,888
売上原価	160,433	136,595
売上総利益	52,513	44,292
販売費及び一般管理費	48,307	47,461
営業利益又は営業損失(△)	4,205	△3,168
営業外収益		
受取利息	148	94
受取配当金	289	280
その他	240	338
営業外収益合計	679	713
営業外費用		
支払利息	942	791
その他	213	84
営業外費用合計	1,155	876
経常利益又は経常損失(△)	3,729	△3,331
特別利益		
投資有価証券売却益	10	6
貸倒引当金戻入額	—	230
新株予約権戻入益	—	65
受取和解金	423	—
その他	0	35
特別利益合計	433	337
特別損失		
固定資産除売却損	59	52
投資有価証券評価損	380	659
事務所移転費用引当金繰入額	238	—
その他	87	474
特別損失合計	766	1,187
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,396	△4,180
法人税、住民税及び事業税	819	226
法人税等調整額	1,706	△753
法人税等合計	2,526	△526
少数株主損失(△)	△214	△346
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,085	△3,307



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,396	△4,180
減価償却費	10,683	9,884
のれん償却額	80	161
負ののれん償却額	△12	△11
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△10	16
事業構造改革損失引当金の増減額(△は減少)	—	△2,899
その他の引当金の増減額(△は減少)	△1,296	△519
受取利息及び受取配当金	△438	△374
支払利息	942	791
売上債権の増減額(△は増加)	37,553	19,301
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,950	△4,363
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,510	△8,040
その他	2,409	713
小計	31,846	10,481
利息及び配当金の受取額	438	380
利息の支払額	△756	△638
法人税等の支払額	△3,647	△3,044
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,881	7,179
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,100	△3,064
有形固定資産の売却による収入	175	28
無形固定資産の取得による支出	△7,211	△7,426
投資有価証券の取得による支出	△430	△638
投資有価証券の売却による収入	65	174
その他	58	93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,443	△10,833
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	9,778	△7,075
長期借入れによる収入	—	4,500
長期借入金の返済による支出	△6,675	△6,587
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△6,500	2,000
自己株式の取得による支出	△1	△0
ストックオプションの行使による収入	40	—
配当金の支払額	△1,262	△1,394
少数株主への配当金の支払額	△36	△5
その他	△63	△219
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,719	△8,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	63
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,736	△12,372
現金及び現金同等物の期首残高	21,603	36,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,340	23,673

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）および当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

当社グループは、コンピュータ、ソフトウェア、その他関連商品ならびにこれらに関する各種サービスを提供する単一事業区分の業務を営んでいるため、事業の種類別セグメント情報の記載を行っておりません。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）および当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

連結売上高の合計に占める日本の割合が90%を越えるため、所在地別セグメント情報の記載を行っておりません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）および当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

連結売上高に対する海外売上高の割合が僅少なため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

「参考資料」

四半期に係る連結財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期 連結累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 平成21年 4月 1日 至 平成21年12月31日)	増減	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
I 売上高				
サービス	160,550	140,975	△ 19,575	△12.2
ソフトウェア	20,201	16,909	△ 3,291	△16.3
ハードウェア	32,194	23,003	△ 9,191	△28.6
計	212,946	180,888	△ 32,058	△15.1
II 売上原価	160,433	136,595	△ 23,837	△14.9
売上総利益	52,513	44,292	△ 8,220	△15.7
III 販売費及び一般管理費				
販売費	5,951	5,702	△ 249	△4.2
一般管理費	42,356	41,759	△ 596	△1.4
計	48,307	47,461	△ 845	△1.8
営業利益又は営業損失 (△)	4,205	△ 3,168	△ 7,374	-
IV 営業外収益				
受取利息	148	94	△ 53	△36.2
受取配当金	289	280	△ 9	△3.4
その他	240	338	98	40.8
計	679	713	34	5.1
V 営業外費用				
支払利息	942	791	△ 150	△16.0
その他	213	84	△ 129	△60.5
計	1,155	876	△ 279	△24.2
経常利益又は経常損失 (△)	3,729	△ 3,331	△ 7,060	-
VI 特別利益				
投資有価証券売却益	10	6	△ 4	△39.4
貸倒引当金戻入額	-	230	230	-
新株予約権戻入益	-	65	65	-
受取和解金	423	-	△ 423	-
その他	0	35	35	-
計	433	337	△ 95	△22.1
VII 特別損失				
固定資産除売却損	59	52	△ 6	△11.3
投資有価証券評価損	380	659	279	73.3
事務所移転費用引当金繰入額	238	-	△ 238	-
その他	87	474	387	441.8
計	766	1,187	421	55.0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	3,396	△ 4,180	△ 7,577	-
法人税等	2,526	△ 526	△ 3,052	-
少数株主損失 (△)	△ 214	△ 346	△ 132	-
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,085	△ 3,307	△ 4,392	-

※第1四半期連結累計期間から、前連結会計年度まで全額「サービス」に含めておりました連結子会社エス・アンド・アイ(株)の売上高を、「サービス」と「ハードウェア」に区分掲記することといたしました。これにあわせ前第3四半期連結累計期間の売上についても、同社の売上高のうち、22億12百万円を「サービス」から「ハードウェア」に組替えております。

## (2) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	当第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3月31日)	増減	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
現金及び預金	23,673	36,146	△ 12,472	△34.5
受取手形及び売掛金	46,980	66,285	△ 19,305	△29.1
商品及び製品	9,214	6,797	2,417	35.6
仕掛品	6,613	4,709	1,903	40.4
原材料及び貯蔵品	269	227	42	18.6
繰延税金資産	11,868	10,389	1,479	14.2
その他	10,179	9,614	565	5.9
貸倒引当金	△ 271	△ 481	209	-
流動資産合計	108,526	133,687	△ 25,161	△18.8
II 固定資産				
1. 有形固定資産				
建物及び構築物 (純額)	4,407	4,565	△ 157	△3.4
機械装置及び運搬具 (純額)	8,923	10,354	△ 1,431	△13.8
その他 (純額)	4,862	4,932	△ 70	△1.4
有形固定資産合計	18,193	19,852	△ 1,659	△8.4
2. 無形固定資産				
のれん	3,571	3,733	△ 161	△4.3
ソフトウェア	23,546	21,472	2,074	9.7
その他	66	69	△ 3	△4.4
無形固定資産合計	27,185	25,275	1,909	7.6
3. 投資その他の資産				
投資有価証券	13,963	15,505	△ 1,542	△9.9
繰延税金資産	15,888	16,307	△ 419	△2.6
前払年金費用	8,629	12,089	△ 3,459	△28.6
その他	12,252	11,463	788	6.9
貸倒引当金	△ 580	△ 636	55	-
投資その他の資産合計	50,153	54,729	△ 4,576	△8.4
固定資産合計	95,532	99,858	△ 4,325	△4.3
資産合計	204,058	233,546	△ 29,487	△12.6

科目	当第3四半期 連結会計期末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3月31日)	増減	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
支払手形及び買掛金	16,885	24,927	△ 8,042	△32.3
短期借入金	5,703	12,779	△ 7,075	△55.4
1年内返済予定の長期借入金	16,530	15,033	1,496	10.0
コマーシャル・ペーパー	13,000	11,000	2,000	18.2
未払法人税等	68	2,350	△ 2,281	△97.1
事業構造改革損失引当金	3,262	6,161	△ 2,899	△47.1
その他の引当金	506	776	△ 269	△34.7
その他	26,875	30,247	△ 3,372	△11.1
流動負債合計	82,831	103,275	△ 20,443	△19.8
II 固定負債				
社債	10,000	10,000	-	-
長期借入金	37,035	40,620	△ 3,584	△8.8
繰延税金負債	745	1,035	△ 290	△28.0
退職給付引当金	1,325	1,308	16	1.3
その他の引当金	241	225	16	7.2
負ののれん	42	54	△ 11	△21.4
その他	1,903	1,561	342	22.0
固定負債合計	51,295	54,805	△ 3,510	△6.4
負債合計	134,126	158,081	△ 23,954	△15.2
(純資産の部)				
I 株主資本				
資本金	5,483	5,483	-	-
資本剰余金	15,475	15,475	-	-
利益剰余金	68,186	72,932	△ 4,746	△6.5
自己株式	△ 19,260	△ 19,260	△0	0.0
株主資本合計	69,884	74,631	△ 4,746	△6.4
II 評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	△ 1,243	△ 626	△ 616	-
繰延ヘッジ損益	0	20	△ 19	△96.5
為替換算調整勘定	77	13	63	484.2
評価・換算差額等合計	△ 1,165	△ 592	△ 572	-
III 新株予約権	738	600	138	23.0
IV 少数株主持分	473	825	△ 351	△42.6
純資産合計	69,931	75,464	△ 5,532	△7.3
負債純資産合計	204,058	233,546	△ 29,487	△12.6

## (3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	増減
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,396	△ 4,180	△ 7,577
減価償却費	10,683	9,884	△ 799
のれん償却額	80	161	81
負ののれん償却額	△ 12	△ 11	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 10	16	26
事業構造改革損失引当金の増減額(△は減少)	-	△ 2,899	△ 2,899
その他の引当金の増減額(△は減少)	△ 1,296	△ 519	777
受取利息及び受取配当金	△ 438	△ 374	63
支払利息	942	791	△ 150
売上債権の増減額(△は増加)	37,553	19,301	△ 18,251
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 7,950	△ 4,363	3,587
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 13,510	△ 8,040	5,470
その他	2,409	713	△ 1,695
小計	31,846	10,481	△ 21,365
利息及び配当金の受取額	438	380	△ 57
利息の支払額	△ 756	△ 638	117
法人税等の支払額	△ 3,647	△ 3,044	603
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,881	7,179	△ 20,702
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△ 5,100	△ 3,064	2,035
有形固定資産の売却による収入	175	28	△ 147
無形固定資産の取得による支出	△ 7,211	△ 7,426	△ 215
投資有価証券の取得による支出	△ 430	△ 638	△ 208
投資有価証券の売却による収入	65	174	108
その他	58	93	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,443	△ 10,833	1,609
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増減額(△は減少)	9,778	△ 7,075	△ 16,854
長期借入れによる収入	-	4,500	4,500
長期借入金の返済による支出	△ 6,675	△ 6,587	87
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△ 6,500	2,000	8,500
自己株式の取得による支出	△ 1	△ 0	1
ストックオプションの行使による収入	40	-	△ 40
配当金の支払額	△ 1,262	△ 1,394	△ 131
少数株主への配当金の支払額	△ 36	△ 5	31
その他	△ 63	△ 219	△ 155
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,719	△ 8,782	△ 4,062
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	17	63	46
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	10,736	△ 12,372	△ 23,109
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	21,603	36,046	14,442
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	32,340	23,673	△ 8,666